



ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

デジアナヘッドエンド

HEDATL

取扱説明書

目次






| | |
|-------------------------------------|-----|
| はじめに | ページ |
| 安全上のご注意 | 3 |
| 使用上のご注意 | 5 |
| 概要・特長 | 6 |
| 各部の名称と機能 | 7 |
| 設定の前に・設定の準備 | 9 |
| 初期設定 | |
| 受信チャンネルを設定する | 11 |
| 接続しているテレビに合わせた設定 | 13 |
| その他の設定 | |
| ズーム(画面拡大)機能 | 14 |
| 設定画面 | 15 |
| 受信チャンネルの変更 | 16 |
| 情報を見る | |
| お知らせメールを見る | 17 |
| 機器情報の表示 | 18 |
| 困ったとき | |
| 故障とお考えになる前に | 19 |
| メッセージ一覧 | 20 |
| 全体図 | 21 |
| 地上デジタル放送チャンネル一覧 | 22 |
| 機器実装用B-CASカード使用に伴う「契約・登録」について | 24 |
| 業務用B-CASカード使用許諾契約約款(機器実装用) | 25 |
| 規格表・付属品 | 27 |

はじめに 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

| | | |
|---|---|---|
|  | 警告 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | 注意 | この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|  | △記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。図の中に注意内容(左図の場合、警告または注意)が描かれています。 | |
|  | ⊘記号は、禁止の行為を示しています。図の中に禁止内容(左図の場合、分解禁止)が描かれています。 | |
|  | ●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。図の中に指示内容(左図の場合、ACプラグをACコンセントから抜く)が描かれています。 | |

警告

- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



- 本機は、直径1.6mm以上の銅線で、必ずアースしてください。
アースをしないと感電の原因となります。



- ACコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、熱器具に近づけたりしないでください。
ACコードが破損して、火災・感電の原因となります。
ACコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)当社支店・営業所に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 本機の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。
火災・感電の原因となります。



- 本機に水が入ったり、濡れたりしないようにしてください。本機の上に薬品や水の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
また、動物が、本機の上に乗らないようにご注意ください。
尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 万一、本機の内部に、異物や水が入った場合、本機の電源を切り、ACプラグをACコンセントから抜いて、当社支店・営業所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 本機内部のユニットのカバーを外したり、改造したりしないでください。また本機ユニットの内部に触れないでください。火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、当社支店・営業所にご依頼ください。



- 万一、煙が出ている、変な臭いや音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源を切り、その後、必ずACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いが出なくなるのを確認して、当社支店・営業所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。



はじめに 安全上のご注意 つづき

⚠ 警告

●雷が鳴出したら、本機やケーブル、ACプラグには触れないでください。
感電の原因となります。



●濡れた手で、ACプラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



●ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。
すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。
また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。



⚠ 注意

●本機は、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



●本機に乗らないでください。
破損して、けがの原因となることがあります。



●本機の上にものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



●温室・サンルーム・屋外などの、高温または湿気の多い場所で使用しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



●ACプラグをACコンセントから抜くときは、ACコードを引っ張らないでください。
ACコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
必ずACプラグを持って抜いてください。



●ACコードは、結んだり、束ねたりしたままで使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。



●リモコンは、新しい電池と古い電池をいっしょに使用しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



●リモコンに電池を入れる場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意して、表示どおりに入れてください。間違えると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。



●長期間、リモコンを使用しないときは、リモコンから電池を取出してください。
液漏れの原因となることがあります。



●万一、リモコン内で電池の液漏れが起こったら、当社 支店・営業所にご相談ください。
また、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



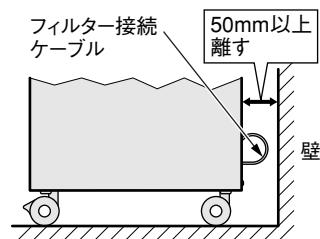
はじめに 使用上のご注意

- ケーブルテレビには接続しないでください。

本機は、地上デジタル放送受信用アンテナに接続して使用するアンテナ受信専用のデジアナヘッドエンドです。ケーブルテレビ局の回線に接続しないでください。ケーブルテレビ局の回線に接続した場合、しばらくすると視聴できなくなります。

- 本機の背面は壁から50mm以上離してください。


機器設置時は背面の排気口をふさがないことと、フィルター接続ケーブルに無理な力が加わらないように本機の背面を壁から50mm以上離して設置してください。



- 本機の漏えい電流は約2mA、突入電流は約64Aです。施設のブレーカーは、定格感度電流5mA以上、突入電流70A以上(10ms)のものをご使用ください。

- 本機の受信周波数帯域と同じ周波数を用いた携帯電話・無線機などから離してご使用ください。

本機が使用する周波数帯域(470~770, 1032~2150MHz)に相当する周波数を使った携帯電話・無線機などを、本機やケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じることがあります。

そのため、配線に使用するケーブルや分配器、直列ユニットなどには、シールド性能の高い、当社の  マーク商品をおすすめします。

次の点にご留意ください

- 本機のチューナー部は、社団法人 電波産業会 (ARIB) の運用仕様に基づいた仕様になっています。その仕様に変更があった場合、本機の規格を変更することがあります。

- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。

- B-CASカードは、放送を視聴していただくための大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合、再発行費用が必要となります。万一、破損、故障、紛失した場合、B-CASカスタマーセンター (TEL 0570-000-250, IP電話からの場合 045-680-2868) へご連絡ください。(その他、p.25, 26の「業務用B-CASカード使用許諾契約約款(機器実装用)」をよくお読みください)

- 万一、本機の不具合で、視聴または録画できなかった場合、補償についてはご容赦ください。

- DVDレコーダー・ビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することは禁止されています。

- コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記のホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) <http://www.dpa.or.jp/>

- メールなどデジタル放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の不具合でこれらの情報が消失した場合、復元はできないため、その内容の補償については、ご容赦ください。

- 取扱説明書に記載の画面は説明用のものであり、実際に表示されるものと異なることがあります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名を含め、実際に表示される内容については、本機に接続されたテレビの画面でご確認ください。

概要・特長

概要

地上デジタル放送の信号をアナログ信号に変換し、UHF帯(ch.13~62)の空きチャンネルを利用して再送信するヘッドエンド装置です。

特長

最大実装8局まで対応

最大8チャンネル分のユニットをひとつのケース(ベース)に収納できますから、1台で地上デジタル放送の番組を8チャンネル伝送することができます。

受信チャンネルを任意に設定

地上デジタル放送の受信チャンネルを任意に設定できます。また、出力チャンネルは、UHF(ch.13~62)の指定のチャンネルに設定できます。

地上デジタルパス回路内蔵

地上デジタル放送用パス回路を内蔵していますから、施設内に地上デジタル対応テレビとアナログテレビが混在しても使用できます。

BS・110°CSパス回路内蔵

BS・110°CSパス回路とBS・110°CSアンテナ用電源を内蔵していますから、BS・110°CS放送を受信しているシステムにも対応できます。

出力レベル調整回路付き

地上デジタル信号をアナログに変換した後の信号と、地上デジタル放送用パス回路を通った地上デジタル信号の出力レベルを独立して調整できますから、アナログに変換した信号と地上デジタル信号の出力レベルを最適な値に調整できます。

外部フィルター接続端子付き

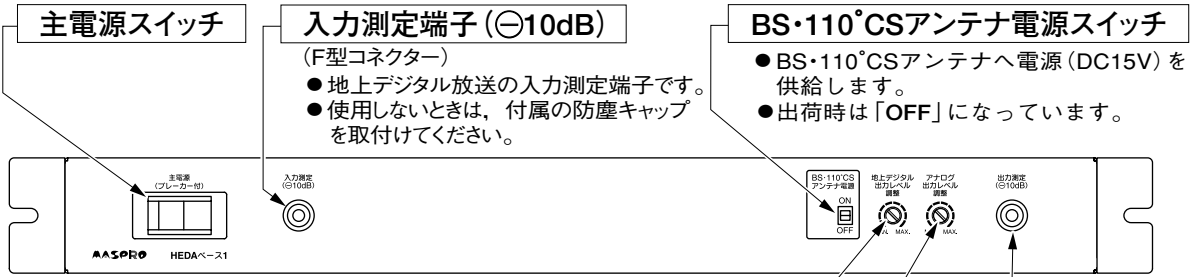
アナログに変換した信号の出力レベルが高いときなど、地上デジタル放送用パス回路に特殊なフィルターが必要になることがあります。本機は、地上デジタル放送用パススルー回路にフィルターを容易に挿入できる外部フィルター接続端子がありますから、多様な受信環境に対応できます。

保守・点検が容易

デジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TLU**は取外しできますから、保守・点検が容易にできます。

各部の名称と機能

デジアナヘッドエンド用ベース HEDAベース1



ご注意

地上デジタル放送のパス信号は、変換したアナログ放送信号より $\ominus 10\text{dB}$ のレベルで運用してください。

地上デジタル出力レベル調整

- 地上デジタル放送信号の出力レベルを $0\sim\ominus 20\text{dB}$ の範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「 0dB 」にしております。

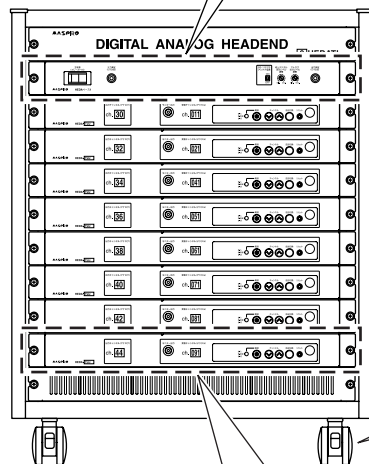
アナログ出力レベル調整

- アナログ信号に変換した地上デジタル放送信号の出力レベルを $0\sim\ominus 10\text{dB}$ の範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「 0dB 」にしております。

出力測定端子 ($\ominus 10\text{dB}$)

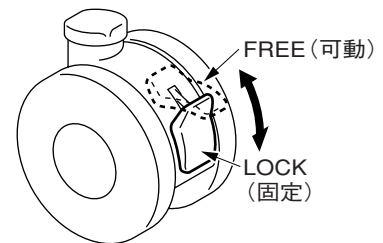
(F型コネクター)
使用しないときは付属の防塵キャップを取付けてください。

前面



キャスター (4個)

前面の2個のキャスターは、ロックすることができます。設置後は必ずロックしてください。



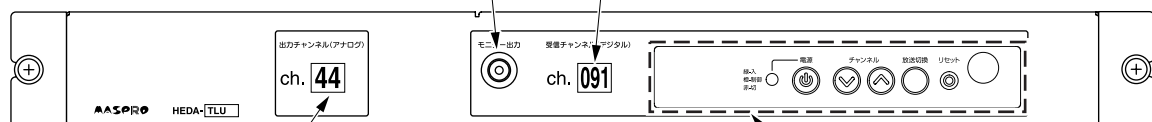
デジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TLU

モニター出力端子

(RCAピンジャック)
地上デジタル放送の選局時に、映像を確認できます。

受信チャンネル表示 (デジタル)

- 受信している地上デジタル放送の3ケタのチャンネル番号です。
- チャンネルスキャン終了後、表示のチャンネルに設定してください。(p.11「受信チャンネルを設定する」をご覧ください)



出力チャンネル表示 (アナログ)

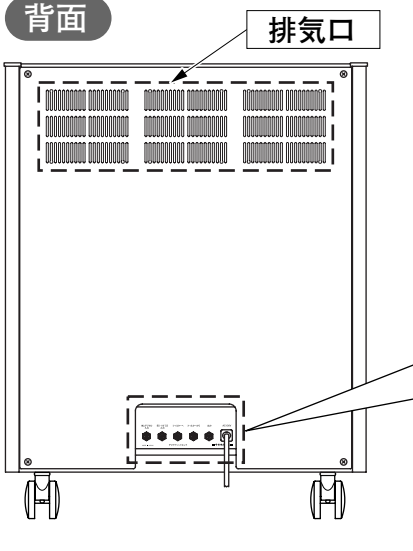
- 地上デジタル放送信号をアナログ信号に変換した出力チャンネル(物理チャンネル: ch.13~62)です。
- 出力チャンネルは変更できません。

チューナー部

p.8「チューナー部」をご覧ください。

各部の名称と機能 つづき

背面



排気口

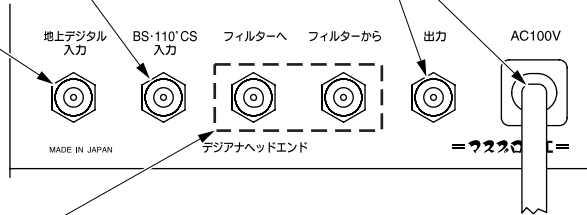
ご注意
ケーブルを接続するときは、コンタクトピン付きのF型コネクタを使用してください。

地上デジタル入力端子
(F型コネクタ)

BS・110°CS入力端子
(F型コネクタ)
使用しないときは、付属の防塵キャップを取付けてください。

出力端子
(F型コネクタ)

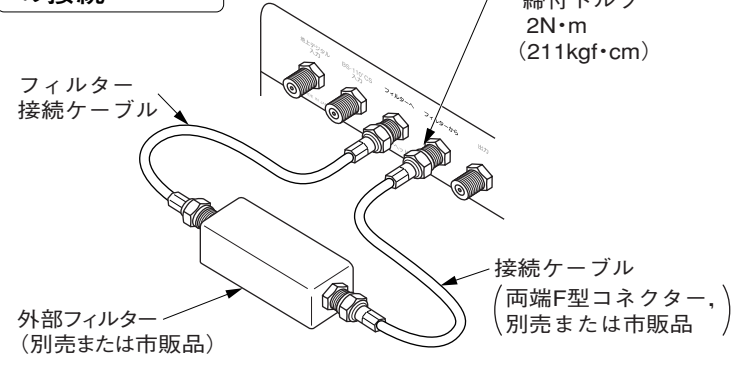
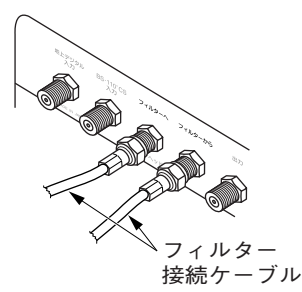
ACコード
(0.9m)



外部フィルター接続端子

- (F型コネクタ)
- 地上デジタル放送用パス回路の増幅部の前に外部フィルターを挿入するときに使用します。
 - 出荷時は、フィルター接続ケーブルを接続して、通過状態になっています。

外部フィルターの接続



チューナー部

チャンネルV/Hボタン

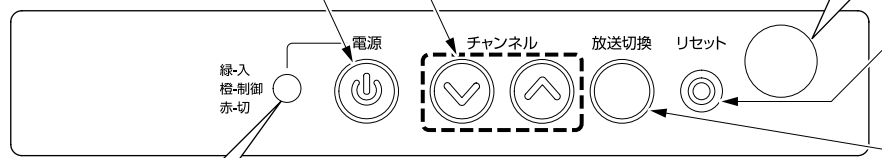
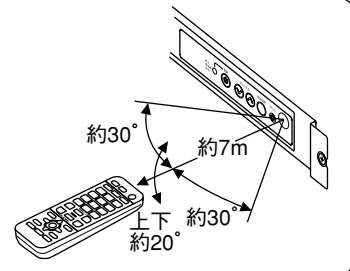
チャンネルを順に選びます。

電源ボタン

電源の「入」「切」をします。

リモコン受光部

- リモコンを受光部に向けて操作してください。
- リモコン受光角度は左右約30°、上下約20°です。
- リモコンを使用できる距離は、本機正面で約7m以内です。



リセットボタン

リモコンおよび本機のボタン操作ができなくなったときや機器異常のとき、押します。

放送切換ボタン

本機では使用しません。

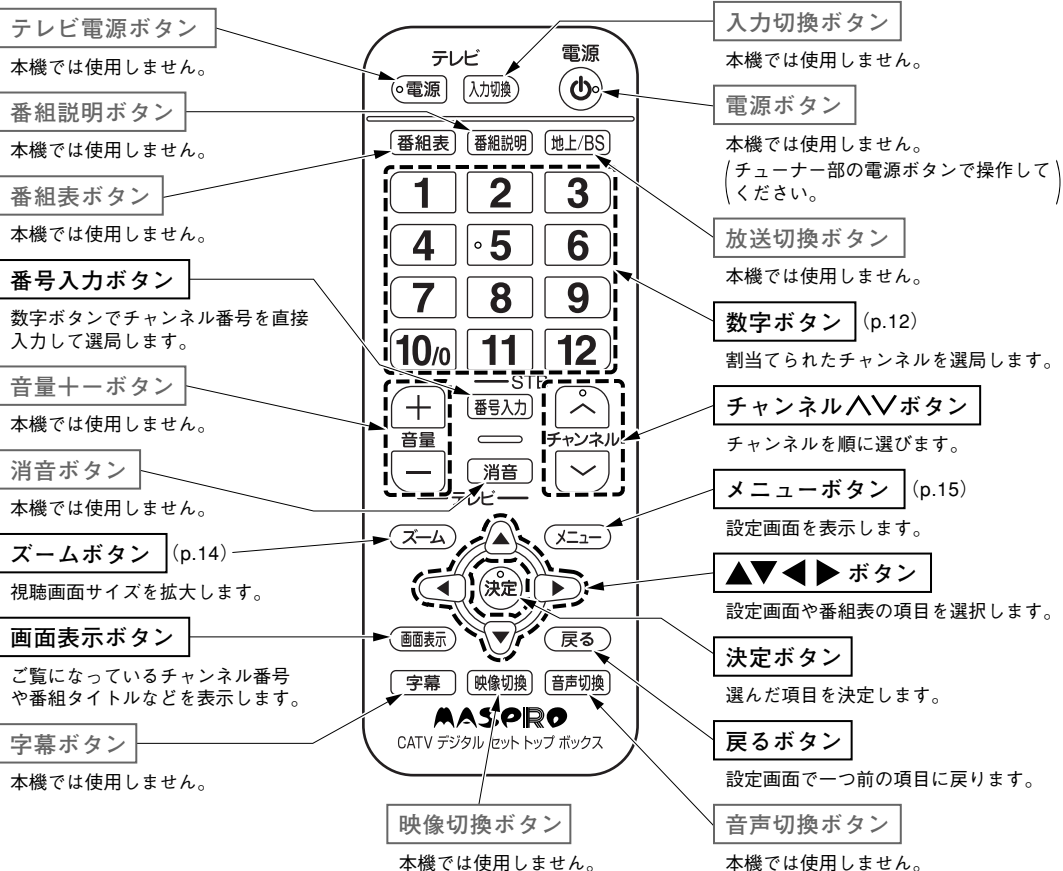
電源表示灯

電源表示灯は、チューナー部の作動状態によって色が変わります。

| 表示灯 | | 作動状態 |
|-----|----|---------------------|
| 点灯 | 緑色 | 電源を入れているとき。 |
| | 赤色 | 電源を切っているとき。 |
| | 橙色 | 番組表の情報を取得しているとき。 |
| 点滅 | 橙色 | 電源を入れたとき、または、切ったとき。 |

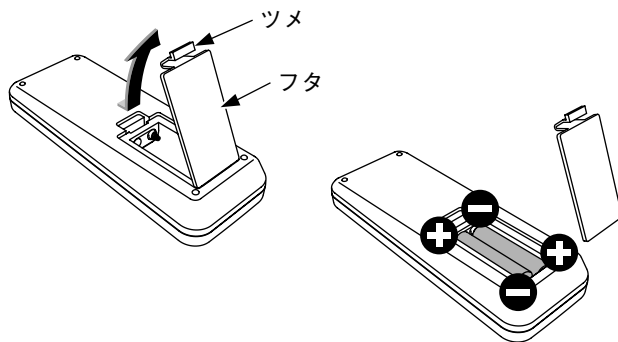
各部の名称と機能 つづき

リモコン



電池の入れ方

- ① リモコン裏面のツメを手前に引きながら、フタを上持ち上げ、取外します。
- ② 付属の単4形乾電池を⊕, ⊖の極性を間違えないように入れます。
- ③ フタを取付けます。

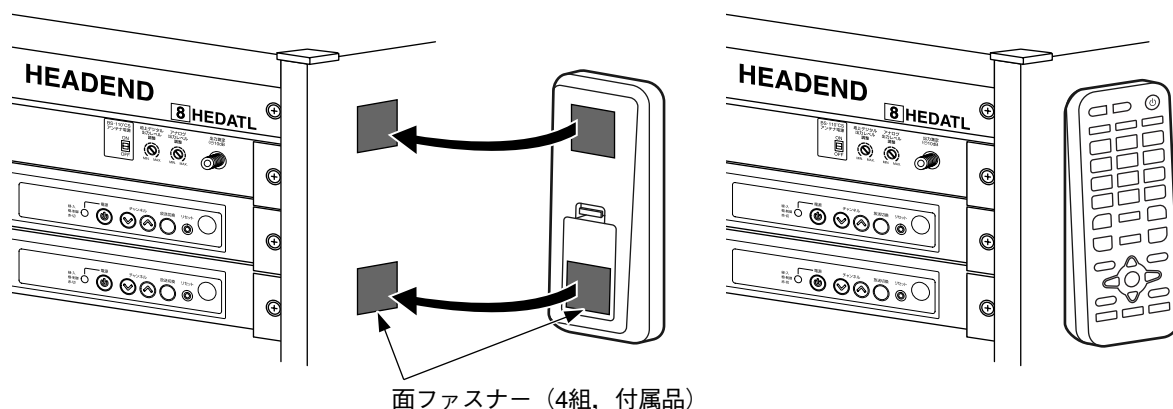


ご注意

乾電池を交換する場合、2本とも新しい同じ種類のものに交換してください。

リモコンの紛失防止

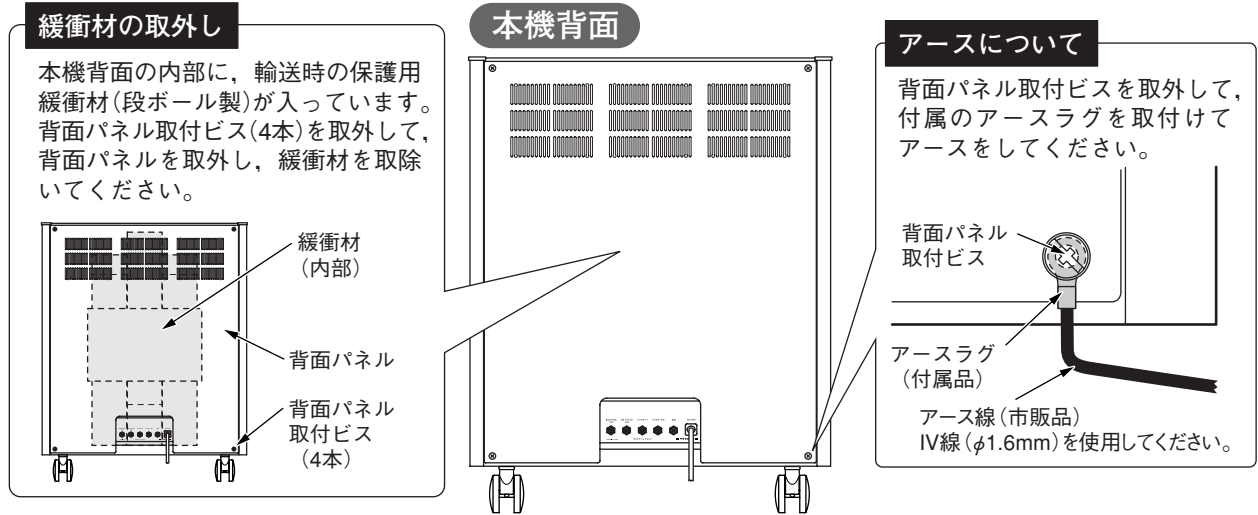
付属の面ファスナーで本機に仮固定すると、リモコンの紛失を防ぐことができます。



設定の前に・設定の準備

設定の前に

- 設定の前に、本機背面の内部にある保護用緩衝材を取除いてください。
- 本機のアースをしてください。

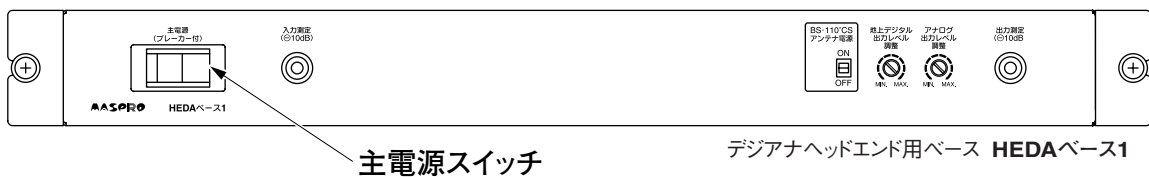


設定の準備

設定時のご注意

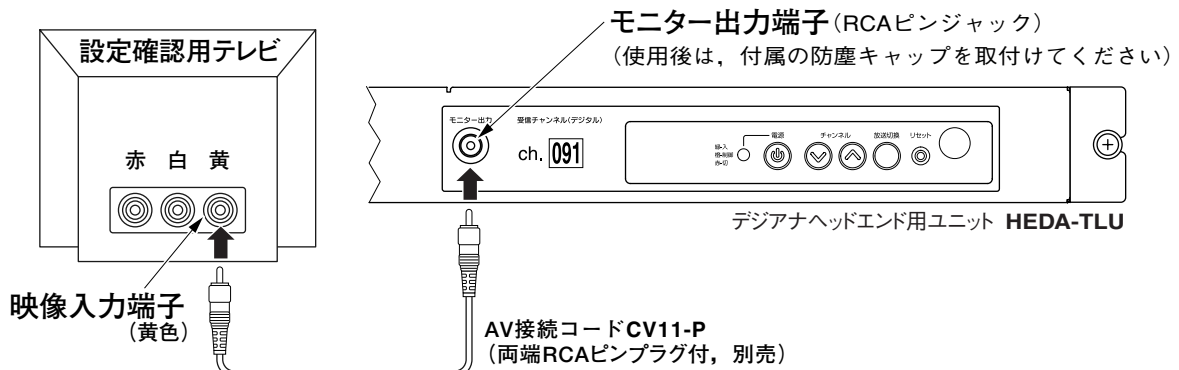
各種設定は、1台ずつ手でデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TLU**の電源(チューナー部の電源ボタン)を入れて行なってください。また、設定が終了したら、一度電源を切ってください。複数のデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TLU**の電源を入れた状態で、設定(リモコンの操作)をすると、複数のユニットが反応して、正しく設定できなくなります。すべてのユニットの設定が完了したら、すべてのデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TLU**のチューナー部の電源ボタンを押して電源を入れてください。

1. HEDAベース1の電源(主電源スイッチ)を入れる



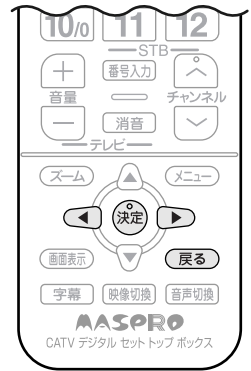
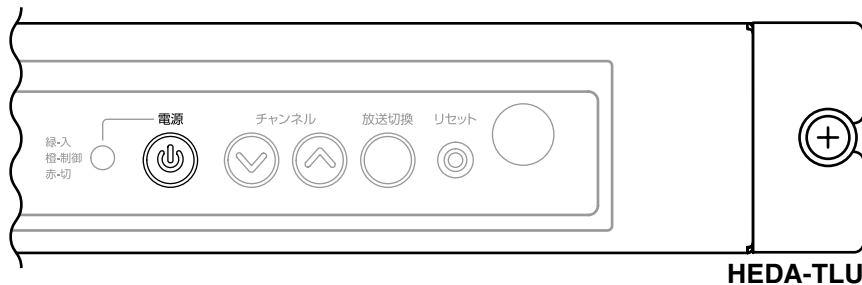
2. 設定確認用テレビを接続する

設定をするデジアナヘッドエンド用ユニット**HEDA-TLU**のモニター出力端子と、設定確認用テレビの映像入力端子(黄色)を別売のAV接続コード**CV11-P**(両端RCAピンプラグ付)で接続します。



初期設定 受信チャンネルを設定する

本機で番組をご覧になるために、ご使用になる地域を設定し、受信できるチャンネルを調べます。



以下の操作をすべてのデジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TLUで繰り返していきます。

1. HEDA-TLUの電源を入れる

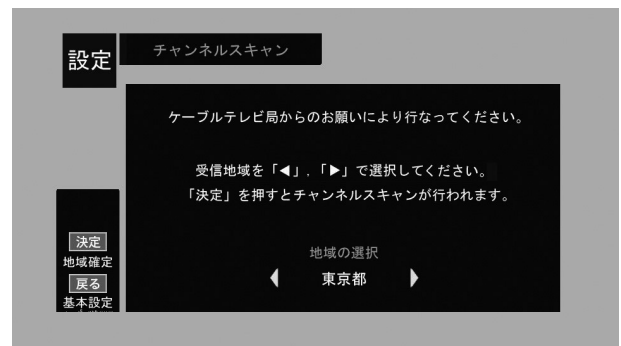
- ① チューナー部の電源ボタンを押して、電源を入れます

ご注意

リモコンを使用せず、必ずチューナー部の電源ボタンを押してください。

- ② 電源表示灯が橙色に点滅し、しばらくすると緑色に点灯します

初めて電源を入れたとき、右のような画面が表示されます

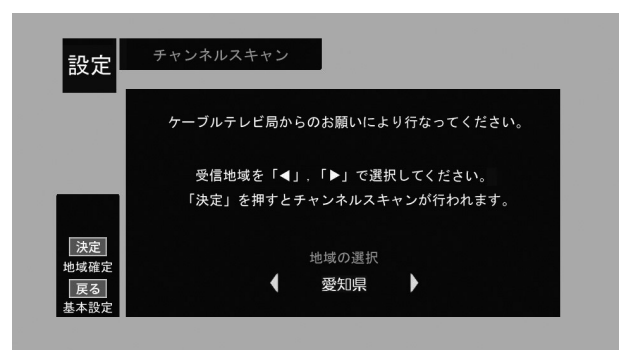


2. 地域を選択

◀ ▶ で本機を設置する地域を選び

決定 押す

チャンネルスキャンが開始されます

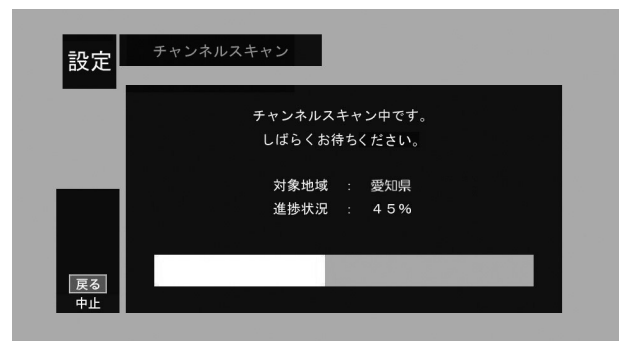


3. チャンネルスキャン中

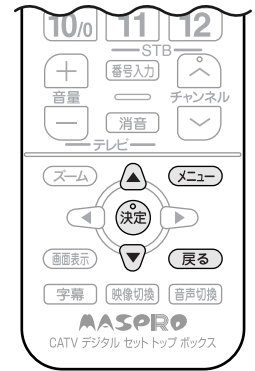
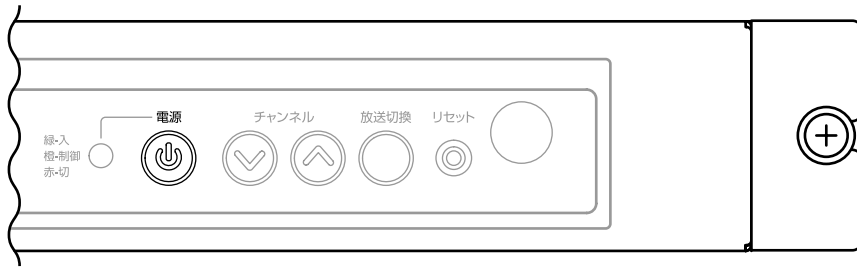
チャンネルスキャンには、しばらく時間がかかります

チャンネルスキャンを中止する場合

戻る 押す



初期設定 受信チャンネルを設定するつづき

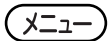


4. チャンネルスキンの終了

リモコンの数字ボタンに割り当てられたチャンネル・放送局名を表示します



でチャンネルが正しく設定されていることを確認します

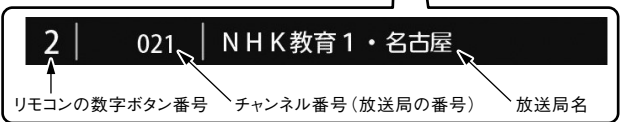


を押す
(通常の視聴状態になります)



正常に視聴できない場合

地上デジタル送信塔に、地上デジタル放送受信用(UHF)アンテナが向いているか確認してください。



リモコンの数字ボタン番号 チャンネル番号(放送局の番号) 放送局名

5. 受信チャンネルの設定

リモコンの数字ボタン **1** ~ **12** で、デジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TLU にそれぞれ表示してある受信チャンネル表示と同じチャンネルに選局します (放送局名は p.22, 23 参照)

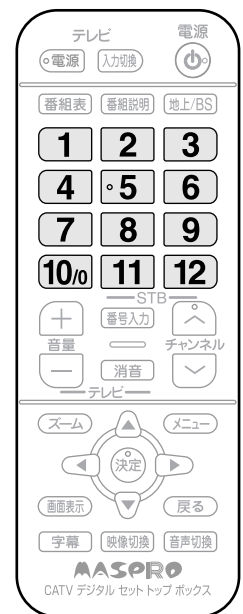
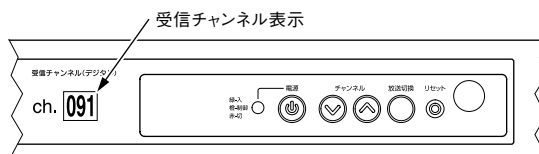
例

ch. **011** のとき **1** を押す。

ch. **091** のとき **9** を押す。

ch. **101** のとき **10/0** を押す。

ch. **121** のとき **12** を押す。



6. 設定終了

戻る を押す

チューナー部の  を押して、電源を切る。

初期設定 接続しているテレビに合わせて設定

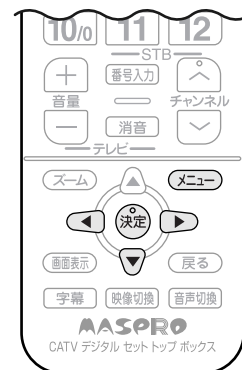
施設内で使用しているテレビの画面(4:3または16:9)に合わせて設定を行います。

ご注意

通常は「4:3画面」の設定にしてください。「16:9画面」に設定すると標準(4:3)テレビで視聴した場合、画面が左右につぶれて縦長の画面になります。

推奨設定

- 施設内のすべてのテレビが4:3のとき : 「4:3画面」
- 施設内のすべてのテレビが16:9のとき : 「16:9画面」
- 4:3と16:9のテレビが混在しているとき : 「4:3画面」



1. 機器設定の選択

メニュー 押す

◀ ▶ で「機器設定」を選び

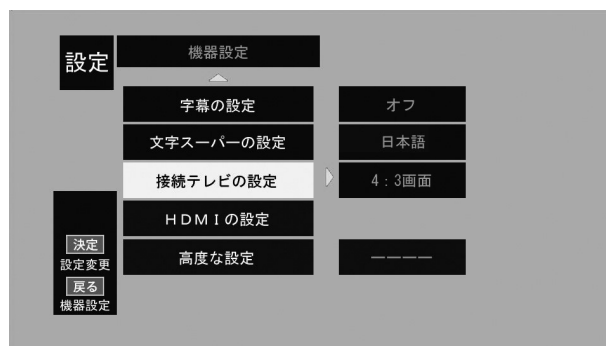
決定 押す



2. 接続テレビの設定の選択

▼ で「接続テレビの設定」を選び

決定 押す



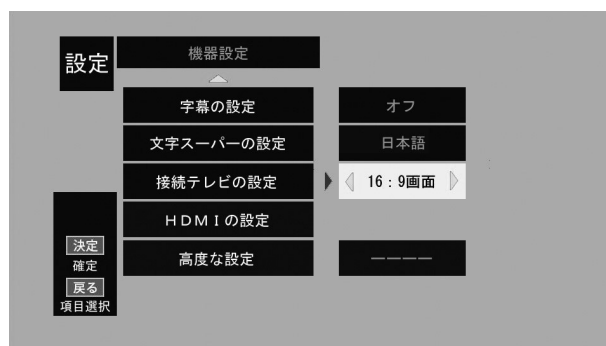
3. 接続するテレビの種類の選択

◀ ▶ で「4:3画面」または「16:9画面」を選び

「4:3画面」 : 標準(4:3)テレビのとき
「16:9画面」 : ワイド(16:9)テレビのとき

決定 押す
(設定を保存します)

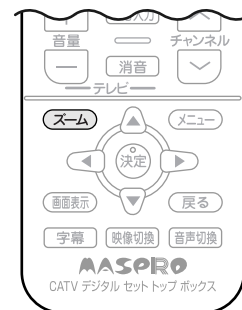
メニュー 押す
(通常の視聴状態に戻ります)



以上の操作をすべてのデジアナヘッドエンド用ユニットで行います。

その他の設定 **ズーム (画面拡大) 機能**

標準 (4:3) のテレビで、アナログに変換した地上デジタル放送を受信した場合、番組によっては、テレビ画面より小さな視聴画面 (額縁画面) になることがあります。本機は、ズーム (画面拡大) 機能により、テレビ画面いっぱいに拡大して視聴できます。



ご注意

ズーム (画面拡大) 機能は、「接続しているテレビに合わせた設定」(p.13) が「4:3画面」のときだけ使用できます。

ズーム (画面拡大) する場合

16:9の映像視聴時に

ズーム 押す
(画面右上に現在の状態「ズーム:切」と表示されます)

3秒以内に、再度

ズーム 押す (画面が拡大表示されます)

推奨設定

- 施設内のすべてのテレビが
4:3のとき :「ズーム:入」
- 4:3と16:9のテレビが混在
しているとき :「ズーム:切」

ズーム (画面拡大) を解除する場合

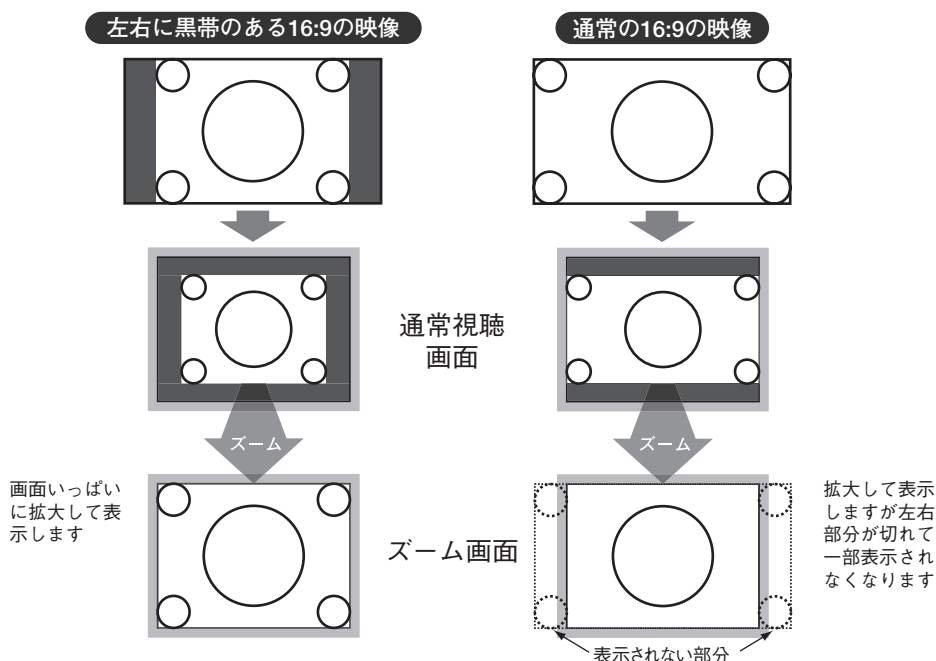
画面拡大表示時に

ズーム 押す (画面右上に現在の状態「ズーム:入」と表示されます)

3秒以内に、再度

ズーム 押す (画面が通常視聴画面に戻ります)

標準 (4:3) のテレビでズームしたときの表示例

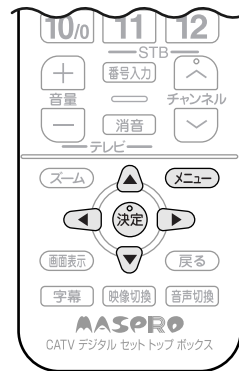


ご注意

- シネマサイズなどの一部の番組では、ズーム (画面拡大) 機能を使用しても、テレビ画面いっぱいに拡大しないことがあります。
- 額縁画面ではない映像を画面拡大させると、映像の左右部分が切れて一部表示されなくなります。

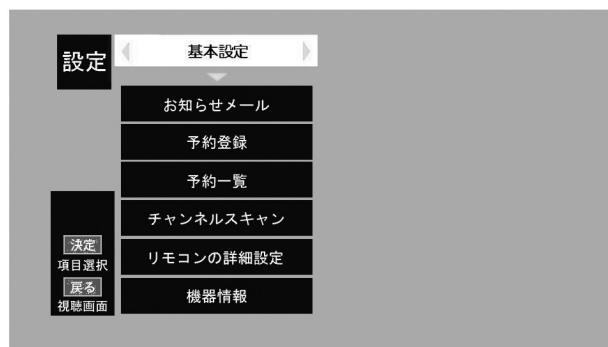
その他の設定 設定画面

それぞれのデジアナヘッドエンド用ユニットHEDA-TLUは、設定画面から各項目を選んで、下記の設定を行うことができます。



1. 設定画面の表示

メニュー 押す



2. 設定する項目の選択

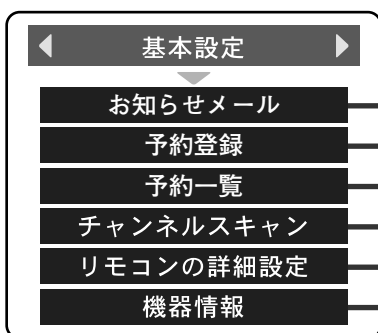
◀ ▶ で「基本設定」または「機器設定」を選び

▲ ▼ で設定する項目を選び

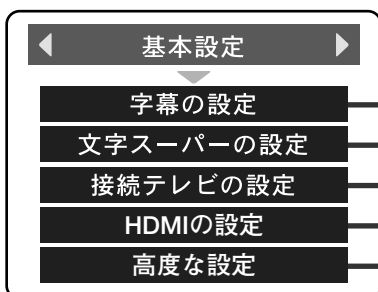
決定 押す



各項目の詳しい設定方法は下記に示した各ページをご覧ください。



- **p.17** 受信したメールの内容を確認できます。
本機では使用しません。
- 本機では使用しません。
- **p.16** 受信チャンネルの設定を変更します。
本機では使用しません。
- **p.18** B-CASカードとソフトウェアの情報を表示します。



- 本機では使用しません。
- 本機では使用しません。
- **p.13** 接続するテレビに合わせて設定を行います。
- 本機では使用しません。
- 本機では使用しません。

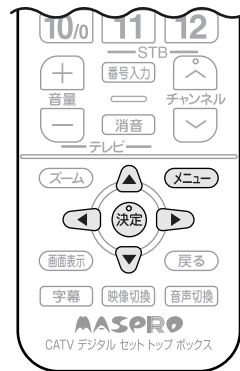
その他の設定 受信チャンネルの変更

すでに設定してある受信チャンネルの設定を変更します。

初期スキャン：機器の移動などで、本機を今までと別の地域で使用するときに行います。
再スキャン：受信地域はそのまま、受信チャンネルが追加または変更されたときに行います。

ご注意

「受信チャンネルの変更」を行うと、今までリモコンの数字ボタンに割り当てられていたチャンネルが変更されることがあります。

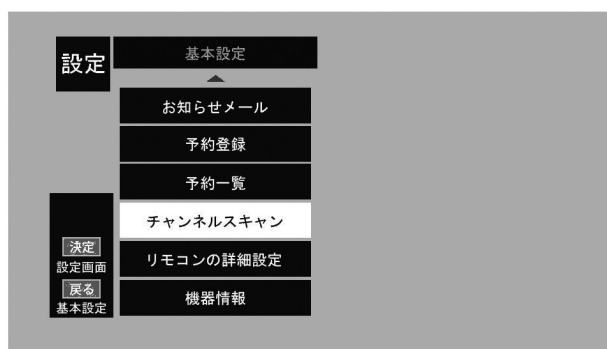


1. チャンネルスキャンの選択

メニュー 押す

▲ ▼ で「チャンネルスキャン」を選び

決定 押す



2. スキャン方法の選択

◀ ▶ で「初期スキャン」または「再スキャン」を選び

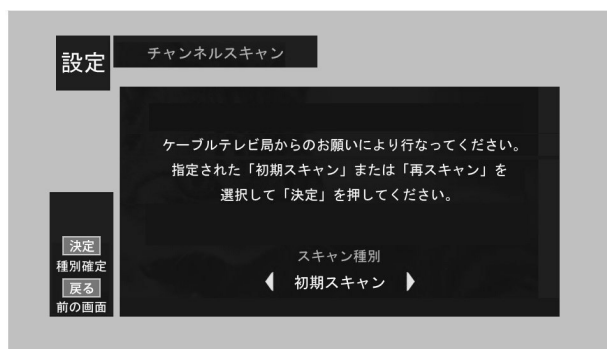
決定 押す

初期スキャンを行なった場合

「3. 地域の選択」(下記)へ

再スキャンを行なった場合

「3. チャンネルスキャン中」(p.11)へ



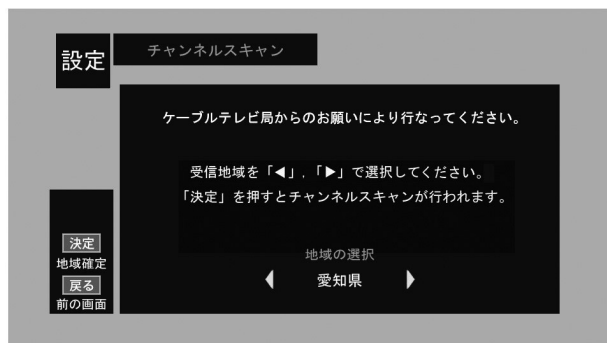
3. 地域の選択

◀ ▶ で本機を設置する地域を選び

決定 押す

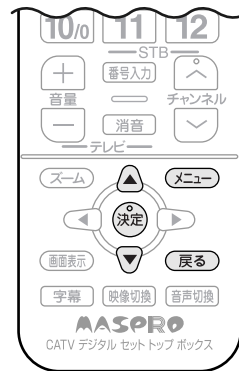
チャンネルスキャンが開始されます

→「3. チャンネルスキャン中」(p.11)へ



情報を見る お知らせメールを見る

放送と一緒に送られてくるお知らせや、ソフトウェアのダウンロードの予定など、受信したお知らせメールの内容を確認できます。



ご注意

- お知らせメールは12件まで保存できます。12件を超えたときは、自動的に既読のメールが削除されます。既読のメールがない場合、古いものから順に未読メールを削除します。
- すべてのデジアナヘッドエンド用ユニットHEDA-TLUのお知らせメールは、同じ内容のため、それぞれのユニットのお知らせメールをすべて確認する必要はありません。

1. お知らせメールの選択

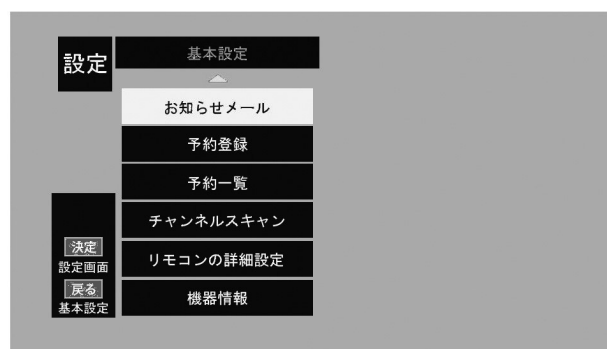
メニュー 押す



で「お知らせメール」を選び



押す



2. 確認するお知らせメールの選択



で確認したいメールを選び



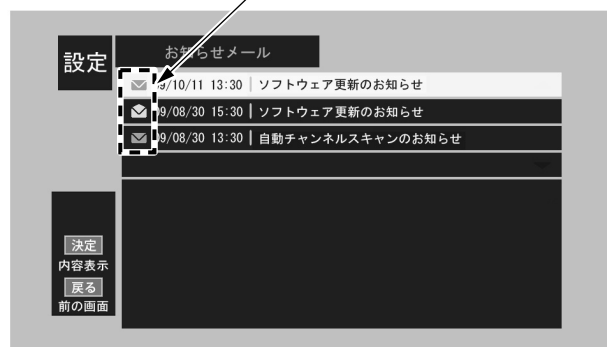
押す

アイコンについて

未読メール

既読メール

アイコン



3. お知らせメールの表示



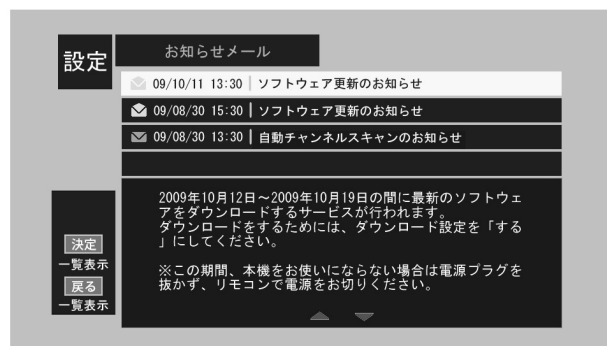
でメールを読終えたら

戻る

押す
 （「2. 確認するお知らせメールの選択」
 に戻ります）

メニュー

押す
 （通常の視聴状態に戻ります）

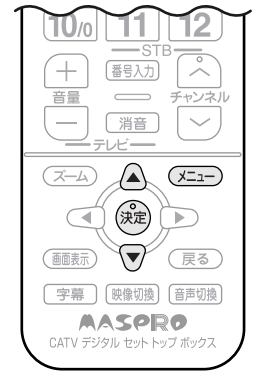


情報を見る 機器情報の表示

挿入されているB-CASカードの情報と、ソフトウェア情報(ソフトウェアバージョン)を表示します。

ご注意

B-CASカードが挿入されていないと、B-CASカード情報は表示されません。



1. 機器情報の選択

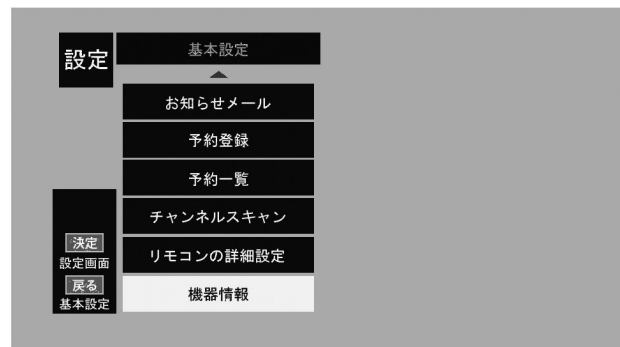
Xメニュー 押す



で「機器情報」を選び



押す

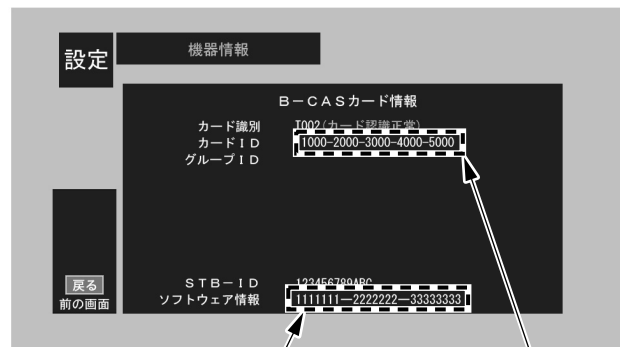


2. 機器情報の表示

B-CASカード情報およびソフトウェア情報(ソフトウェアバージョン)が表示されます

「B-CASカードID(番号)」は、お問合わせのときに必要になります。

Xメニュー 押す
(通常の視聴状態に戻ります)



ソフトウェアバージョン

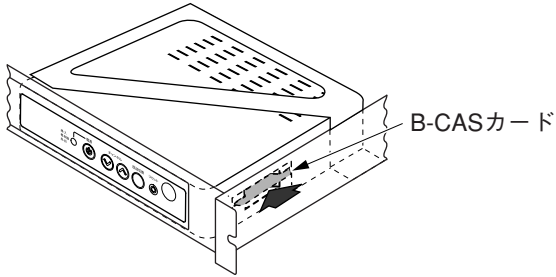
B-CASカードID(番号)

困ったとき 故障とお考えになる前に

| 症状 | 原因 | 処置 |
|----------------------|---|---|
| 電源を入れてもすぐに映像が表示されない。 | 本機のソフトウェア起動に時間がかかる。 | 本機のソフトウェアが映像を受信して表示するまでに時間がかかることがあります。電源表示灯が橙色で点滅しているときはソフトウェアの起動の準備中です。 |
| すべて同じチャンネルが送出される。 | 複数のデジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TLU の電源を入れた状態でリモコン操作したため、複数のユニットが反応している。 | <ul style="list-style-type: none"> ●各種設定は、1台ずつデジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TLUの電源を入れて行なってください。 ●設定後は、HEDA-TLUの電源を一度切ってください。 ●HEDA-TLUの設定がすべて終了したら、すべてのHEDA-TLUの電源を入れてください。 |
| 付属のリモコンの操作ができない。 | リモコンの電池が消耗している。 | 2本とも新しい乾電池に交換してください。 |
| | 電池の極性(⊕, ⊖)が逆になっている。 | リモコンの極性表示に合わせて乾電池を入れてください。(p.9) |
| | リモコンを HEDA-TLU のチューナー部の受光部に向けて操作していない。 | HEDA-TLU のチューナー部のリモコン受光部に向けて操作してください。(p.8) |
| 設定画面が消えない。 | 「メニュー」ボタン以外のボタンで操作している。 | 「メニュー」ボタンをもう一度押すと設定画面が消えます。(p.9) |
| すべてのボタンの操作ができない。 | 受信異常などによる。 | <ul style="list-style-type: none"> ①主電源スイッチを「OFF」にして、数秒後再度「ON」にしてください。(p.7) ②その後、各HEDA-TLUのチューナー部の電源ボタンを押してください。 |

困ったとき メッセージ一覽

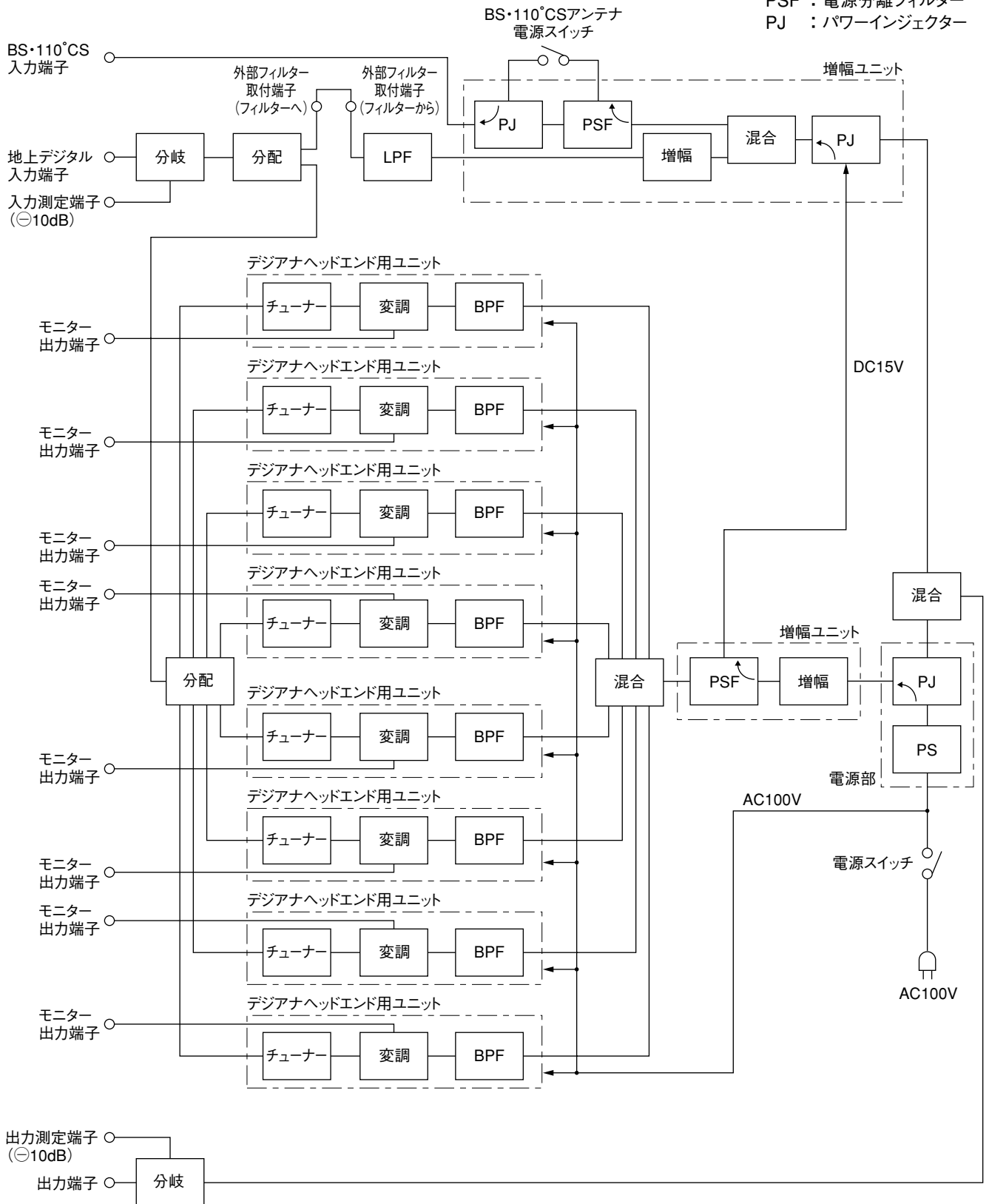
本機の状態によっては、メッセージが表示されることがあります。

| メッセージ | 処置 | ページ |
|---|---|-----|
| 地上デジタル放送を視聴するためにはメニューよりチャンネルスキャンを行なってください。 | 地上デジタル放送受信用(UHF)アンテナからのケーブルを接続してから、「メニュー」でチャンネルスキャンを行なってください。 | 16 |
| 信号が受信できません。(E202) | 地上デジタル放送受信用(UHF)アンテナからのケーブルおよびコネクタの接続を確認してください。 (アンテナの方向調整が必要なことがあります) | — |
| 現在放送されていません。(E203) | チャンネルを変更してください。 | 12 |
| このチャンネルはありません。(E204) | チャンネルを変更してください。 | 12 |
| B-CASカードを正しく挿入してください。 (E100) (E101) | B-CASカードが正しく装着されていない可能性があります。デジアナヘッドエンド用ユニット HEDA-TLU の左右2か所のビスを取外し、ユニットを引き出して、B-CASカードを押し込んでください。正しく装着しても改善されないときは、当社 支店・営業所にお問合わせください。  | — |
| このカードは使用できません。 正しいB-CASカードを装着してください。 (E102) | カードIC部の破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、当社 支店・営業所にお問合わせください。 | — |
| B-CASカードを交換してください。(E102) | B-CASカードと本体の接触部にゴミが付着している可能性があります。正しく装着しても改善されないときは、当社 支店・営業所にご連絡ください。 | — |
| 現在、〇〇〇 ch で緊急警報放送を行っております。「決定」を押すとこのメッセージは消えます。 | 緊急警報放送をご覧になる場合、提示されたチャンネルに選局してください。 | 12 |
| 選択したチャンネルはありません。 (E204) | 入力した番号のチャンネルはありません。 チャンネルを変更してください。 | 12 |

全体図

8HEDATL 全体図

- LPF : ローパスフィルター
- BPF : バンドパスフィルター
- PS : 電源
- PSF : 電源分離フィルター
- PJ : パワーインジェクター



地上デジタル放送チャンネル一覧

地上デジタル放送のチャンネルを、地域別に表示してあります。他地域の放送を受信した場合、チャンネルと放送局名が異なることがあります。

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|-------------|-------------|----------|
| 北海道 (北見) | 1 | HBC北見 |
| | 2 | NHK教育・北見 |
| | 3 | NHK総合・北見 |
| | 5 | STV北見 |
| | 6 | HTB北見 |
| | 7 | TVH北見 |
| | 8 | UHB北見 |
| | 北海道 (旭川) | 1 |
| 2 | | NHK教育・旭川 |
| 3 | | NHK総合・旭川 |
| 5 | | STV旭川 |
| 6 | | HTB旭川 |
| 7 | | TVH旭川 |
| 8 | | UHB旭川 |
| 北海道 (釧路) | | 1 |
| | 2 | NHK教育・釧路 |
| | 3 | NHK総合・釧路 |
| | 5 | STV釧路 |
| | 6 | HTB釧路 |
| | 7 | TVH釧路 |
| | 8 | UHB釧路 |
| | 北海道 (帯広) | 1 |
| 2 | | NHK教育・帯広 |
| 3 | | NHK総合・帯広 |
| 5 | | STV帯広 |
| 6 | | HTB帯広 |
| 7 | | TVH帯広 |
| 8 | | UHB帯広 |
| 北海道 (札幌) | | 1 |
| | 2 | NHK教育・札幌 |
| | 3 | NHK総合・札幌 |
| | 5 | STV札幌 |
| | 6 | HTB札幌 |
| | 7 | TVH札幌 |
| | 8 | UHB札幌 |
| | 北海道 (室蘭) | 1 |
| 2 | | NHK教育・室蘭 |
| 3 | | NHK総合・室蘭 |
| 5 | | STV室蘭 |
| 6 | | HTB室蘭 |
| 7 | | TVH室蘭 |
| 8 | | UHB室蘭 |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 | |
|-------------|-------|------------|----------|
| 北海道 (函館) | 1 | HBC函館 | |
| | 2 | NHK教育・函館 | |
| | 3 | NHK総合・函館 | |
| | 5 | STV函館 | |
| | 6 | HTB函館 | |
| | 7 | TVH函館 | |
| | 8 | UHB函館 | |
| | 青森 | 1 | RAB青森放送 |
| 2 | | NHK教育・青森 | |
| 3 | | NHK総合・青森 | |
| 5 | | 青森朝日放送 | |
| 6 | | ATV青森テレビ | |
| 岩手 | | 1 | NHK総合・盛岡 |
| | 2 | NHK教育・盛岡 | |
| | 4 | テレビ岩手 | |
| | 5 | IAT岩手朝日テレビ | |
| | 6 | IBC岩手放送 | |
| | 8 | 岩手めんこいテレビ | |
| 宮城 | 1 | TBCテレビ | |
| | 2 | NHK教育・仙台 | |
| | 3 | NHK総合・仙台 | |
| | 4 | ミヤギテレビ | |
| | 5 | KHB東日本放送 | |
| 秋田 | 1 | NHK総合・秋田 | |
| | 2 | NHK教育・秋田 | |
| | 4 | ABS秋田放送 | |
| | 5 | AAB秋田朝日放送 | |
| | 8 | AKT秋田テレビ | |
| 山形 | 1 | NHK総合・山形 | |
| | 2 | NHK教育・山形 | |
| | 4 | YBC山形放送 | |
| | 5 | YTS山形テレビ | |
| | 6 | テレビユー山形 | |
| | 8 | さくらんぼテレビ | |
| | 福島 | 1 | NHK総合・福島 |
| | | 2 | NHK教育・福島 |
| 4 | | FCT福島中央テレビ | |
| 5 | | KFB福島放送 | |
| 6 | | テレビユー福島 | |
| 8 | | 福島テレビ | |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 | |
|----|-------|----------|----------|
| 千葉 | 1 | NHK総合・東京 | |
| | 2 | NHK教育・東京 | |
| | 3 | チバテレビ | |
| | 4 | 日本テレビ | |
| | 5 | テレビ朝日 | |
| | 6 | TBS | |
| | 7 | テレビ東京 | |
| | 8 | フジテレビ | |
| | 12 | 放送大学 | |
| | 茨城 | 1 | NHK総合・水戸 |
| | | 2 | NHK教育・東京 |
| | | 4 | 日本テレビ |
| 5 | | テレビ朝日 | |
| 6 | | TBS | |
| 7 | | テレビ東京 | |
| 8 | | フジテレビ | |
| 12 | | 放送大学 | |
| 栃木 | 1 | NHK総合・東京 | |
| | 2 | NHK教育・東京 | |
| | 3 | とちぎテレビ | |
| | 4 | 日本テレビ | |
| | 5 | テレビ朝日 | |
| | 6 | TBS | |
| | 7 | テレビ東京 | |
| | 8 | フジテレビ | |
| 群馬 | 1 | NHK総合・東京 | |
| | 2 | NHK教育・東京 | |
| | 3 | 群馬テレビ | |
| | 4 | 日本テレビ | |
| | 5 | テレビ朝日 | |
| | 6 | TBS | |
| | 7 | テレビ東京 | |
| | 8 | フジテレビ | |
| 埼玉 | 1 | NHK総合・東京 | |
| | 2 | NHK教育・東京 | |
| | 3 | テレ玉 | |
| | 4 | 日本テレビ | |
| | 5 | テレビ朝日 | |
| | 6 | TBS | |
| | 7 | テレビ東京 | |
| | 8 | フジテレビ | |
| 12 | 放送大学 | | |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 | |
|----|-------|------------|----------|
| 東京 | 1 | NHK総合・東京 | |
| | 2 | NHK教育・東京 | |
| | 4 | 日本テレビ | |
| | 5 | テレビ朝日 | |
| | 6 | TBS | |
| | 7 | テレビ東京 | |
| | 8 | フジテレビ | |
| | 9 | TOKYO MX | |
| | 12 | 放送大学 | |
| | 神奈川 | 1 | NHK総合・東京 |
| | | 2 | NHK教育・東京 |
| | | 3 | tvk |
| 4 | | 日本テレビ | |
| 5 | | テレビ朝日 | |
| 6 | | TBS | |
| 7 | | テレビ東京 | |
| 8 | | フジテレビ | |
| 12 | | 放送大学 | |
| 山梨 | | 1 | NHK総合・甲府 |
| | | 2 | NHK教育・甲府 |
| | | 4 | YBS山梨放送 |
| | 6 | UTY | |
| | 新潟 | 1 | NHK総合・新潟 |
| | | 2 | NHK教育・新潟 |
| 4 | | TeNYテレビ新潟 | |
| 5 | | UX新潟テレビ21 | |
| 6 | | BSN新潟放送 | |
| 8 | | NST新潟総合テレビ | |
| 長野 | | 1 | NHK総合・長野 |
| | | 2 | NHK教育・長野 |
| | 4 | テレビ信州 | |
| | 5 | abn長野朝日放送 | |
| | 6 | SBC信越放送 | |
| | 8 | NBS長野放送 | |
| | 富山 | 1 | KNB北日本放送 |
| | | 2 | NHK教育・富山 |
| 3 | | NHK総合・富山 | |
| 6 | | チューリップテレビ | |
| 8 | | BBT富山テレビ | |
| 福井 | | 1 | NHK総合・福井 |
| | | 2 | NHK教育・福井 |
| | | 7 | FBC福井放送 |
| | 8 | 福井テレビ | |

地上デジタル放送チャンネル一覧つづき

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|----|---------|-----------|
| 石川 | 1 | NHK総合・金沢 |
| | 2 | NHK教育・金沢 |
| | 4 | テレビ金沢 |
| | 5 | 北陸朝日放送 |
| | 6 | MRO北陸テレビ |
| | 8 | 石川テレビ |
| 静岡 | 1 | NHK総合・静岡 |
| | 2 | NHK教育・静岡 |
| | 4 | 静岡第一テレビ |
| | 5 | あさひテレビ |
| | 6 | SBS静岡放送 |
| | 8 | テレビ静岡 |
| 愛知 | 1 | 東海テレビ |
| | 2 | NHK教育・名古屋 |
| | 3 | NHK総合・名古屋 |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ〜テレ |
| 10 | テレビ愛知 | |
| 岐阜 | 1 | 東海テレビ |
| | 2 | NHK教育・名古屋 |
| | 3 | NHK総合・岐阜 |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ〜テレ |
| 8 | 岐阜テレビ | |
| 三重 | 1 | 東海テレビ |
| | 2 | NHK教育・名古屋 |
| | 3 | NHK総合・津 |
| | 4 | 中京テレビ |
| | 5 | CBC |
| | 6 | メ〜テレ |
| 7 | 三重テレビ | |
| 滋賀 | 1 | NHK総合・大津 |
| | 2 | NHK教育・大阪 |
| | 3 | BBCびわ湖放送 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| 10 | よみうりテレビ | |
| 京都 | 1 | NHK総合・京都 |
| | 2 | NHK教育・大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 5 | KBS京都 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| 10 | よみうりテレビ | |
| 大阪 | 1 | NHK総合・大阪 |
| | 2 | NHK教育・大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 7 | テレビ大阪 |
| | 8 | 関西テレビ |
| 10 | よみうりテレビ | |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|-----|---------|-----------|
| 兵庫 | 1 | NHK総合・神戸 |
| | 2 | NHK教育・大阪 |
| | 3 | サンテレビ |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| 10 | よみうりテレビ | |
| 奈良 | 1 | NHK総合・奈良 |
| | 2 | NHK教育・大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| | 10 | よみうりテレビ |
| 和歌山 | 1 | NHK総合・和歌山 |
| | 2 | NHK教育・大阪 |
| | 4 | MBS毎日放送 |
| | 5 | テレビ和歌山 |
| | 6 | ABCテレビ |
| | 8 | 関西テレビ |
| 10 | よみうりテレビ | |
| 鳥取 | 1 | 日本海テレビ |
| | 2 | NHK教育・鳥取 |
| | 3 | NHK総合・鳥取 |
| | 6 | BSS山陰放送 |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| 島根 | 1 | 日本海テレビ |
| | 2 | NHK教育・松江 |
| | 3 | NHK総合・松江 |
| | 6 | BSS山陰放送 |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| | 8 | 山陰中央テレビ |
| 岡山 | 1 | NHK総合・岡山 |
| | 2 | NHK教育・岡山 |
| | 4 | RNC西日本放送 |
| | 5 | KSB瀬戸内海放送 |
| | 6 | RSKテレビ |
| | 7 | テレビせとうち |
| 8 | OHK岡山放送 | |
| 広島 | 1 | NHK総合・広島 |
| | 2 | NHK教育・広島 |
| | 3 | RCC中国放送 |
| | 4 | 広島テレビ |
| | 5 | 広島ホームテレビ |
| | 8 | TSSテレビ新広島 |
| 山口 | 1 | NHK総合・山口 |
| | 2 | NHK教育・山口 |
| | 3 | tysテレビ山口 |
| | 4 | KRY山口放送 |
| | 5 | yab山口朝日放送 |
| | 5 | yab山口朝日放送 |
| 高知 | 1 | NHK総合・高知 |
| | 2 | NHK教育・高知 |
| | 4 | 高知放送 |
| | 6 | テレビ高知 |
| | 8 | さんさんテレビ |
| | 8 | さんさんテレビ |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|-----|-----------|------------|
| 徳島 | 1 | 四国放送 |
| | 2 | NHK教育・徳島 |
| | 3 | NHK総合・徳島 |
| 香川 | 1 | NHK総合・高松 |
| | 2 | NHK教育・高松 |
| | 4 | RNC西日本放送 |
| | 5 | KSB瀬戸内海放送 |
| | 6 | RSKテレビ |
| | 7 | テレビせとうち |
| 8 | OHK岡山放送 | |
| 愛媛 | 1 | NHK総合・松山 |
| | 2 | NHK教育・松山 |
| | 4 | 南海放送 |
| | 5 | 愛媛朝日テレビ |
| | 6 | あいテレビ |
| | 8 | テレビ愛媛 |
| 福岡 | 1 | KBC九州朝日放送 |
| | 2 | NHK教育・福岡 |
| | 2 | NHK教育・北九州 |
| | 3 | NHK総合・福岡 |
| | 3 | NHK総合・北九州 |
| | 4 | RKB毎日放送 |
| 5 | FBS福岡放送 | |
| 7 | TVQ九州放送 | |
| 8 | TNCテレビ西日本 | |
| 佐賀 | 1 | NHK総合・佐賀 |
| | 2 | NHK教育・佐賀 |
| | 3 | STSサガテレビ |
| 長崎 | 1 | NHK総合・長崎 |
| | 2 | NHK教育・長崎 |
| | 3 | NBC長崎放送 |
| | 4 | NIB長崎国際テレビ |
| | 5 | NCC長崎文化放送 |
| | 8 | KTNテレビ長崎 |
| 熊本 | 1 | NHK総合・熊本 |
| | 2 | NHK教育・熊本 |
| | 3 | RKK熊本放送 |
| | 4 | KKTくまもと県民 |
| | 5 | KAB熊本朝日放送 |
| | 8 | TKUテレビ熊本 |
| 大分 | 1 | NHK総合・大分 |
| | 2 | NHK教育・大分 |
| | 3 | OBS大分放送 |
| | 4 | TOSテレビ大分 |
| | 5 | OAB大分朝日放送 |
| | 5 | OAB大分朝日放送 |
| 宮崎 | 1 | NHK総合・宮崎 |
| | 2 | NHK教育・宮崎 |
| | 3 | UMKテレビ宮崎 |
| | 6 | MRT宮崎放送 |
| | 6 | MRT宮崎放送 |
| | 6 | MRT宮崎放送 |
| 鹿児島 | 1 | MBC南日本放送 |
| | 2 | NHK教育・鹿児島 |
| | 3 | NHK総合・鹿児島 |
| | 4 | KYT鹿児島読売TV |
| | 5 | KKB鹿児島放送 |
| | 8 | KTS鹿児島テレビ |

| 地域 | チャンネル | 放送局名 |
|----|-------|------------|
| 沖縄 | 1 | NHK総合・那覇 |
| | 2 | NHK教育・那覇 |
| | 3 | RBC琉球放送 |
| | 5 | QAB琉球朝日放送 |
| | 8 | OTV沖縄テレビ放送 |

機器実装用B-CASカード使用に伴う「契約・登録」について

(株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ)

受信機器に実装されているカードの使用にあたっては「B-CASカード使用許諾契約約款(機器実装用)」(以下「約款」といいます)に同意し、「契約・登録書」に記名・捺印の上、届出(ユーザー登録：約款第3条参照)して頂く必要がありますので、事前に添付の約款を必ずお読み下さい。

1. ユーザー登録について

- 1) B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護や有料放送の視聴に利用されており、デジタル放送サービス(無料放送、有料放送、NHK、他)を受信するために、必要となります(約款第1条参照)。
- 2) B-CASカードは、複数の放送事業者が共通に利用しており、カードの運用管理、カード交換時の放送事業者の連携(鍵明け変更)等が必要となります。従ってカードの使用にあたっては、B-CASシステム(方式)を統括的に運用管理している当社に必ずユーザー登録をして下さい(約款第3条参照)。なお、ユーザー登録は無料です。
- 3) ユーザー登録は、本書に添付された「契約・登録書」に記名・捺印の上、当社に直接送付するか、又は保守事業者等を経由して送付する方法により行います(約款第3条参照)。
- 4) 登録者情報は、デジタル放送の受信契約等の判断資料として、下表の放送事業者に提供します。NHKには全カードの使用者、有料放送事業者には「特定業務用カード」の使用者の登録者情報が提供されます。なお、ユーザー登録は有料放送の契約やNHKの受信契約とは違いますので、これ等の受信契約はカード使用者が個別に夫々の放送事業者と契約等を行ってください。

| BS/CSデジタル放送(事業者)一覧 (順不同) | |
|--|--|
| BSデジタル放送 | ・NHK(地上デジタル放送を含む) ・BS日テレ ・BS朝日 ・BS-TBS ・BSジャパン ・BSフジ ・WOWOW ・スター・チャンネルBS 他 |
| 110度CSデジタル放送 | ・スカパーJSAT 他 |
| その他の事業者名は、当社のホームページ(http://www.b-cas.co.jp)を参照して下さい。 または当社のカスタマセンター(TEL:0570-000-250)にお問合せ下さい。 | |

2. カードの使用にあたっての注意事項(詳細は約款を参照してください)

- 1) 受信機器に実装されているカードの所有権は、当社に帰属しています。当社は約款に従って、使用者にカードを貸与(使用許諾)します(約款第2条参照)。
- 2) カードの使用にあたっては、使用者の責任で関係する法令や規約等(著作権法、放送法、有線テレビジョン放送法、不正競争防止法、各種受信契約等)を遵守してください。
- 3) カードは、当社に届け出された業務用途(目的内使用)以外には使用することはできません(約款第2条参照)。
またカードを、一般視聴者の受信機器等に使用させることもできません(約款第10条参照)。
- 4) 「カード」には、有料放送の受信契約が出来ない「業務用カード」と、有料放送の受信契約が可能な「特定業務用カード」の2種類がありますので、カードの種別を確認して下さい(約款第2条3項及び4項参照)。

業務用B-CASカード使用許諾契約約款（機器実装用）（KB0021D）

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」という）は、地上デジタルテレビジョン放送、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送等（以下「デジタル放送」という）を受信するために、お客様がこの約款の内容に同意される場合に限り、業務用デジタル放送受信機器に実装されたICカード（B-CASカード）（以下「カード」という）をお客様が使用することを許諾します。当社は、お客様がこの約款に同意し、添付の「業務用B-CASカード（機器実装用）」契約・登録書（以下「契約・登録書」という）に記名・捺印したときに「業務用B-CASカード使用許諾契約」（以下「本契約」という）が成立したものとみなしますので、事前にこの約款を必ずお読み下さい。

なお、業務用デジタル放送受信機器に実装されるカードには、有料放送の受信契約が出来ない「業務用カード」と、有料放送の受信契約が可能な「特定業務用カード」の2種類がありますので、お客様は本約款に規定された夫々の使用許諾条件に従って使用してください。

第1条（カードの使用目的）

カードは、デジタル放送受信機器を制御する集積回路（IC）が内蔵されており、デジタル放送の番組等の著作権保護や有料放送の視聴に利用されています。カードは、デジタル放送の無料放送、有料放送、NHK、メッセージ表示機能、およびデータ放送等の各種デジタル放送サービス（以下「放送サービス」という）を受信するために必要となります。

第2条（カードの所有権と使用許諾）

カードの所有権は、B-CASシステム（方式）を統括的に運用管理する当社に帰属します。

2. 本契約に同意したお客様（以下「使用者」という）は、本契約に基づき、以下の各号に掲げる特定の業務用途の受信機器のためにのみ、カードを使用することができます（以下「目的内使用」という）。
 - ① ホテル・旅館・病院等の業務用のデジタル放送受信機器
 - ② レンタル・リース等の業務用のデジタル放送受信機器
 - ③ 当社が特に使用を認めた業務用のデジタル放送受信機器
 - ④ 前各号のフィールドメンテナンスのための用途
3. 「業務用カード」が実装された受信機器を利用する使用者は、当該カードで有料放送の受信契約をすることはできません。
4. 「特定業務用カード」が実装された受信機器を利用する使用者は、有料放送事業者の許諾が得られた場合に限り、当該カードで有料放送（ペイ・パー・ビュー放送を含む）の受信契約をすることができます。
5. 使用者は、カードを本条第2項の業務用途の受信機器に使用にあたっては、使用者の責任で関係する法令や規約等（例えば著作権法や放送法、各種受信契約等）を遵守してください。

第3条（ユーザー登録等）

当社が、使用者を特定することにより、カードのシステムの安全性確保および放送サービスの向上を図るとともにカードのバージョンアップ等に関する業務を円滑に行うため、使用者は、当社に直接、または、受信機器の製造会社、販売会社もしくは保守事業者（以下総称して「保守業者等」という）を経由して、記名・捺印した契約・登録書を当社に送付することにより、使用者の届出（以下「ユーザー登録」という）をしなければなりません。また使用者は、受信機器をリース契約等により第三者の所有権の基で使用する場合には、当社に届出をしなければなりません（以下これらの全ての情報を「登録者情報」という）。

2. 使用者は、本契約締結後、住所変更、その他の事由等により登録者情報に変更が生じた場合は、直ちに当社へ直接または保守業者等を通じて連絡しなければなりません。
3. 当社は、前項による登録者情報を、このカードの使用者の真正な情報とみなします。
4. 当社が限定受信システム（CAS）やカードの利用を認めたデジタル放送の放送事業者やプラットフォーム事業者（以下「放送事業者」といい、具体的な放送事業者名は当社のホームページを参照）に対して、使用者がカードの使用に関する連絡をした場合、当該放送事業者から当社へ使用者の情報（ID番号、氏名又は法人名、生年月日、住所、電話番号等）が書面又は電子的方法により通知される場合があります。その場合、当社は通知された情報に基づいて使用者のユーザー登録を行います。

第4条（登録者情報の管理）

当社は、登録者情報を別に定めるガイドラインに従って厳格に管理します。

2. 当社は、デジタル放送の受信契約等の判断資料として、「特定業務用カード」の使用者の登録者情報（ID番号、氏名又は法人名、生年月日、住所、電話番号等）を書面または電子的方法により放送事業者に提供します。
3. 当社は、「業務用カード」の使用者であっても当社が放送事業者の運用管理に必要と認めた場合は、当該放送事業者に当該登録者情報を書面または電子的方法により提供します。
4. 当社は、当社が業務用受信機器の販売・保守運用管理に必要と認めた場合は、保守業者等に当該登録者情報を書面または電子的方法により提供します。

第5条（カードの管理等）

使用者は、受信機器に実装されたカードの紛失、盗難および破損することのないよう十分注意（善良な管理者の注意）をしなければなりません。

2. 使用者は、カードが目的内使用以外には使用されないよう十分注意をしなければなりません。
3. 当社は放送の受信その他受信機器を用いて行われる全ての操作が使用者によって行われたものとみなし、カードの第三者による不正利用等の事故により損害が生じて、当社は一切の責任を負いません。

第6条（カードの故障等）

使用者は、カードに起因すると推測される受信障害等が発生した場合は、保守業者等に連絡してカード交換等の保守・サービスを受けてください。

2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、放送サービス等が受信できないことによる損害または保守業者等による保守・サービス等の費用が生じて、当社はその責任を負いません。

第7条（カードの破損、紛失、盗難等）

使用者は、受信機器またはカードの破損、紛失または盗難等があった場合は、直ちに直接または保守業者等を通じて当社に通知し、当社の指示に従ってください。当社がこの通知を受理した場合には、当社は当該カードを無効とする手続きを行います。

2. 使用者は、紛失または盗難等により新たなカードが実装された受信機器を設置した場合は、第3条の規定に基づき新たにユーザー登録をしてください。

第8条（カードの交換依頼等）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、当社は直接または保守業者等を通じて使用者にカードの交換を依頼することがあります。

第9条（不使用となったカードの処置等）

使用者は、使用しなくなった受信機器またはカードがある場合には、直接または保守業者等を通じて当社に通知し、当社の指示に従ってください。

2. 使用者は、本契約に基づく受信機器に実装された全てのカードを使用しなくなり、直接または保守業者等を通じて当社に通知し受理された場合には、この契約は終了します。

第10条（禁止事項等）

使用者は、このカードを当社が認めた業務用途（目的内使用）以外には使用することはできません。また使用者は、カードを一般視聴者の受信機器等に使用させることはできません。

2. 使用者は、カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
3. 使用者は、このカードの使用にあたって、関係する法令や規約等（例えば放送法、有線テレビジョン放送法、著作権法、不正競争防止法、各種受信契約等）に違反して使用することはできません。
4. 使用者は、カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。
5. 使用者は、事前に当社の許諾を受けた場合以外は、カードを譲渡その他方法のいかんを問わず、第三者に使用させることはできません。ただし、第2条に規定する目的内使用に付随して、第三者がカードの実装された受信機器によりデジタル放送を視聴することは、本条項の禁止する第三者によるカードの使用に該当しません。

第11条（契約違反）

使用者が本契約に違反（例えばユーザー登録、法令違反、目的内使用以外の使用、カードの複製、分解、変造、翻案、カードの譲渡等）した場合、当社は本契約を解除し、使用者に対し、当該カードの返却を求めるほか、当社が被った損害の賠償を請求することができます。

第12条（免責事項）

当社は、この約款に別段の規定のある場合のほか、カードの使用に関して発生する使用者の損害について当社に故意または重大な過失のある場合を除き、一切の責任を負いません。

第13条（契約約款の変更）

この契約約款は変更することがあります。この契約約款の変更事項または新契約約款については、当社が別に定める方法で周知します。

規格表・付属品

規格表 Specifications

デジアナ変換部

MASPRO

| 項目 Items | 規格 | |
|---|---|---------------|
| 入力周波数 Input Frequency | 470~770MHz | |
| 受信チャンネル Reception Channels | 地上デジタル放送の内、最大8チャンネル | |
| 入力信号 Type of Input Signal | ISDB-T | |
| 出力周波数 Output Frequency | 470~770MHz | |
| 出力チャンネル Output Channels | ch.13~62の内、最大指定8チャンネル(隣接不可) | |
| 入力レベル範囲 Input Level Range | 65~85dB μ V | |
| 出力レベル調整範囲 Output Level Control Range | 0~ \ominus 10dB以上(連続可変) | |
| 音声出力モード Audio Output Mode | ステレオ固定 | |
| 出力信号 Type of Output Signal | 映像変調方式 Video Modulation Type | VSB-AM (NTSC) |
| | 音声変調方式 Audio Modulation Type | FM(音声多重) |
| 最大出力レベル Maximum Output Level | 90dB μ V以上(変換したアナログ放送信号)、地上デジタル放送は \ominus 10dB運用 | |
| 入力測定端子結合量 Tap Value of Input Test Port | \ominus 10dB(F型コネクター) | |

地上デジタル・BS・110°CSパス部

| | |
|---|--|
| 入力周波数 Input Frequency | 470~770MHz(地上デジタル放送)、1032~2150MHz(BS・110°CSデジタル放送) |
| 入力レベル範囲 Input Level Range | 65~85dB μ V(地上デジタル放送) |
| 出力レベル調整範囲 Output Level Control Range | 0~ \ominus 20dB以上(連続可変、地上デジタル放送) |
| 最大出力レベル Maximum Output Level | アナログ出力レベルに対して \ominus 10dB運用 |
| 通過帯域損失 Insertion Loss | \ominus 12dB以下(BS・110°CSデジタル放送) |

共通仕様

| | | |
|--|----|---------------------------------------|
| 入・出カインピーダンス Input/Output Impedance | ※1 | 75 Ω (F型コネクター) |
| VSWR Voltage Standing Wave Ratio | ※1 | 2.5以下 |
| 出力測定端子結合量 Tap Value of Output Test Port | | \ominus 10dB(F型コネクター) |
| 電源 Power Requirements | | AC100V 50・60Hz |
| 消費電力 Power Consumption | | 約76W/約104VA(8局装着、BS・110°CSアンテナへ4W給電時) |
| 使用温度範囲 Temperature Range | | 0~ \oplus 40°C |
| 外観寸法 Dimensions | | 673(H)×535(W)×455(D)mm(キャスト部含む) ※2 |
| 質量(重量) Weight | | 48kg(8局装着時) |
| 備考 Notes | | 屋内仕様のみ |

※1 地上デジタル入力端子：470~770MHz、BS・110°CS入力端子：1032~2150MHz、出力端子：470~770MHzおよび1032~2150MHz

※2 奥行き(D)は、フィルター接続ケーブルを含む値です。

リモコン

MASPRO

| 項目 Items | 規格 |
|--------------------------|-------------------------|
| 電源 Power Requirements | DC3V(単4形乾電池2本使用) |
| 操作距離 Control Distance | 約7m以内(正面距離) |
| 操作範囲 Control Range | 左右方向約30°以内、上下中心から約20°以内 |
| 外観寸法 Dimensions | 27(H)×55(W)×150(D)mm |
| 質量(重量) Weight | 約85g(乾電池含まず) |

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

付属品

防塵キャップ …… 受信局数+3 業務用B-CASカード使用許諾契約約款 ※… 受信局数分
 リモコン …… 2個 面ファスナー …… 4組(リモコン固定用)
 単4形乾電池 …… 4本(お試用) アースラグ …… 1個

※「B-CASカード」と「カードID番号バーコードシール」(5枚中2枚)は、製品に使用してあります。

地デジをすべての人に届けたい

マサプロ電工

本社 〒470-0194(本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
技術相談

0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用できます
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは **052-805-3366**
受付時間 9~12時, 13~17時(土・日・祝日, 当社休業日を除く)
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は, お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

首都圏電材(営) (03)5469-5521
首都圏(シ) (03)3499-5632
西日本(シ) (082)230-2359
中日本(シ) (06)6632-1144
北日本(シ) (022)786-5062
福岡(支) (092)551-1711
沖縄 (098)854-2768
鹿児島 (099)812-1200
宮崎 (0985)25-3877
熊本 (096)381-7626
長崎 (095)864-6001

北九州 (093)941-4026
下関 (083)255-1130
広島(支) (082)230-2351
松江 (0852)21-5341
岡山 (086)252-5800
松山 (089)973-5656
高知 (088)882-0991
高松 (087)865-3666
大阪(支) (06)6635-2222
姫路 (079)234-6669
神戸 (078)231-6111
京都 (075)646-3800
東海(工) (052)804-6262

名古屋(支) (052)802-2233
津 (059)234-0261
岐阜 (058)275-0805
豊橋 (0532)33-1500
静岡 (054)283-2220
松本 (0263)57-4625
福井 (0776)23-8153
金沢 (076)249-5301
関東(工) (03)3499-5631
東京(支) (03)3409-5505
新潟 (025)287-3155
横浜 (045)784-1422
八王子 (042)637-1699
千葉 (043)232-5335
さいたま (048)663-8000

前橋 (027)263-3767
水戸 (029)248-3870
宇都宮 (028)636-1210
仙台(支) (022)786-5060
郡山 (024)952-0095
盛岡 (019)641-1500
盛岡 (018)862-7523
青森 (017)742-4227
札幌 (011)782-0711
幌幌 (0154)23-8466
旭川 (0166)25-3111
(営) : 営業グループ
(シ) : システム営業グループ
(工) : 工事グループ

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。